

2022年5月12日

各位

会社名 ニッコー株式会社
代表者名 代表取締役社長 三谷 明子
(コード番号 5343 名証メイン)
問合せ先 取締役サービス本部長 布川 一哉
(TEL. 076-276-2121)

連結業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

本日付「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表した2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の連結業績につきまして、前期実績値(2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日))との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、当社は当該期間に係る業績予想を公表していないため、増減につきましては実績値との比較になっております。

記

1. 2022年3月期通期連結業績の前期実績との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値(A) (2021年3月期)	11,458	△627	△491	△682	△29円29銭
当期実績値(B) (2022年3月期)	12,577	△174	△62	△85	△3円68銭
増減額(B-A)	1,119	453	428	596	
増減率(%)	9.8	—	—	—	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、2022年3月期に係る各数値は、当該会計基準等を適用した後の数値となっています。

2. 差異の理由

売上高は、主に次の理由により、前期実績値を上回りました。

住設環境機器事業においては、業界一省エネタイプ小型浄化槽「水創り王®」の商品力を生かした新規顧客開拓による販売シェア拡大と工事付物件の受注増加等、機能性セラミック商品事業においては、取引先における工場稼働率の急回復等に対する増産体制構築による売上高の拡大等、陶磁器事業においては、北米地区での大型案件や新しい地域での案件獲得等により、全てのセグメントにおいて増収となりました。

営業利益は、新商品比率拡大に伴う売上総利益率の改善、増産による工場稼働率改善のほか、固定費の削減を図ったことで、前期実績値を上回り、赤字を縮小しました。

経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、上記の利益上昇要因のほか、受取配当金や為替差益などの計上により、前期実績値を上回り、赤字を縮小しました。

以上